

1. 業務概要

1.1 業務の目的

本県の観光2次交通に関する課題を解決するため、平成30年度から公共交通機関等の静的データ（時刻表、バス停位置等）を整備し、オープンデータ化したことで、沖縄本島全域の公共交通機関でGoogleマップでの経路検索が可能となるとともに、整備したデータを誰でも自由に利活用できる環境が整った。（令和2年3月末までに100%整備済）。

令和2年度は、主に空港を発着する観光客の利用が多い路線バスにおいて、リアルタイムの運行情報である動的データ整備の実証実験を実施するとともに、観光客の動態データの取得・分析を実施し、引き続き公共交通の利用促進及び観光客の移動利便性向上を図ることを目的として業務を実施した。

1.2 業務の実施手順

本業務の実施手順を以下に示す。



図表 1 業務の実施フロー

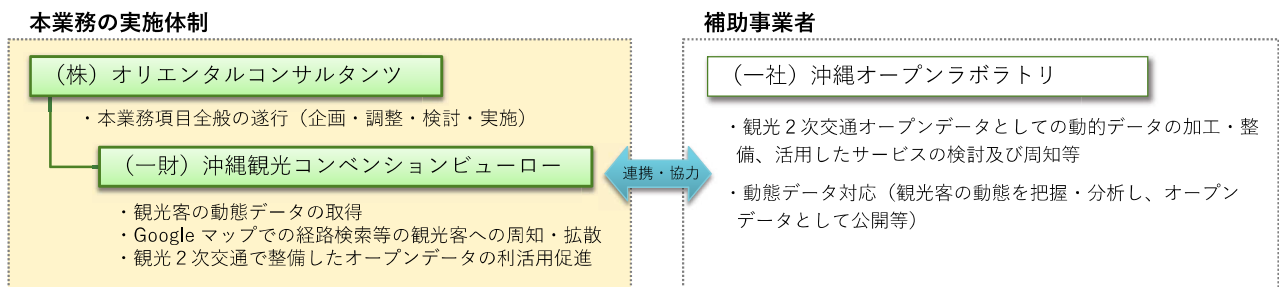
1.3 業務の実施体制

本業務の実施体制を以下に示す。

本業務は、「株式会社オリエンタルコンサルタンツ」と「一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー」との共同企業体で実施した。

「株式会社オリエンタルコンサルタンツ」は、業務項目全般の企画・調整・検討・実施を行い、「一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー」は、観光客の動態データの取得や、Google マップでの経路検索等の観光客への周知・拡散、観光2次交通で整備したオープンデータの利活用の促進を行った。

なお、補助事業者である「一般社団法人沖縄オープンラボラトリ」とは密に連携し、業務を遂行した。



図表 2 業務の実施体制図